

デーリー東北
2019年(令和元年)11月1日(金曜日)(16)

つたえる地域 つながる地域



鮮やかな紫色のパープルマムを丁寧に摘み取る堰合さん夫婦

食用菊「パープルマム」収穫期

一輪ずつ丁寧に

階上

階上町などで栽培されている紫色の食用菊「パープルマム」が収穫期を迎えている。同町の農業堰合勝美さん

(76)、征子さん(75)夫婦は30日、鮮やかに咲いた花々を一つずつ丁寧に摘み取る作業に精を出した。

堰合さんは5年ほど前からパープルマムの

栽培を始めた。華やかな色合いが人気で、八戸の市場や「道の駅はしかみ」に出荷している。

今年は9月末に収穫を始め、11月半ば頃まで行う予定。勝美さんは「今年は花の数が多し。より多くの人に知られるようになってほしい」と期待を込める。

パープルマムは同町の菓子店「ラ・ドゥルセリア美松」の小松國男代表と、八戸工業大生命環境科学科の若生豊教授(当時)が2014年から共同研究。同大学生がデザインした専用ラベルを活用し、普及を目指している。

研究によると、抗酸化などの作用がある成分「ルテオリン」を豊富に含み、認知症など神経疾患の予防にも効果があることが分かったという。(田中周菜)